

豚 肉 情 勢

3月14日 更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考				
供給	1.国産	○ 1月の全国豚と畜頭数は、1,404千頭と前年並みとなった。(前年比99.3%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道106.2%、東北96.2%、関東98.6%、北陸甲信越97.4%、東海101.2%、近畿100.3%、中四国104.5%、九州・沖縄98.7% ○ 2月の全国と畜頭数は、1,283千頭(速報値2月28日まで集計、前年比93.4%)と前年を下回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より1日少なく、1日当たりの平均と畜頭数は71,300頭(前年実績:72,350頭/日、前年差▲1,050頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;2月21日付け)によると、3月;1,457千頭(前年比106%)、4月;1,403千頭(同100%)、5月;1,342千頭(同99%)、6月:1,307千頭(同110%)、7月:1,303千頭(同99%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約103%と前年を上回る見込み。 ○ 1月の輸入通関実績は、豚肉全体で80.6千ﾄﾝ(前年比111.7%、前月比105.2%)と前年を上回った。 内訳は、チルドが32.1千ﾄﾝ(前年比92.5%、前月比92.8%)、フローゼンは48.5千ﾄﾝ(同129.5%、同115.4%)となった。 国別でみると、チルドではカナダが増加した。フローゼンでは主要国全てで増加した。 (参考)形態別相手国別輸入数量 チルド ;カナダ16.6千ﾄﾝ(前年比101.5%)、米国12.4千ﾄﾝ(同82.2%)、メキシコ3.0千ﾄﾝ(同94.7%) フローゼン ;スペイン15.8千ﾄﾝ(同130.5%)、メキシコ5.0千ﾄﾝ(同101.7%)、米国4.9千ﾄﾝ(同123.6%)、デンマーク3.8千ﾄﾝ(同109.9%)、チリ3.2千ﾄﾝ(同100.6%) ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(2月26日公表)によると、2月の輸入量:80.8千ﾄﾝ(前年比125.2%)、3月の輸入量:75.6千ﾄﾝ(同101.7%)と、ともに上回ると見込まれる。 チルドは、2月はカナダ産の増加が見込まれること等から、前年同月を上回る一方、3月は前年同月のメキシコ産が多かったこと等から下回ると予測する。 フローゼンは、価格優位性によりブラジル産の増加が引き続き見込まれること等や紅海周辺の情勢悪化による物流の混乱により、前年2月の欧州産輸入量が少なかった事から、2月、3月ともに前年同月を上回ると予測する。3か月平均では、チルドは前年同期を下回り、フローゼンは上回ると見込んでいる。 令和7年 2月:合計80.8千ﾄﾝ(前年比125.2%)、チルド32.7千ﾄﾝ(同101.1%)、フローゼン48.1千ﾄﾝ(同149.5%) 令和7年 3月:合計75.6千ﾄﾝ(前年比101.7%)、チルド32.4千ﾄﾝ(同95.3%)、フローゼン43.2千ﾄﾝ(同107.1%) 直近3か月(1月～3月)平均:合計79.0千ﾄﾝ(前年比112.4%)、チルド32.4千ﾄﾝ(同96.4%)、フローゼン46.6千ﾄﾝ(同127.7%)	国内生産量の推移 (千頭:%)		農水省出荷予測 (千頭:%)		
	2.輸入	暦年	国内と畜頭数		暦年	出荷予測	
			千頭	前年比		頭数	前年比
		R3年	16,836	100.9	R7年 3月	1,457	106
		R4年	16,577	98.5	R7年 4月	1,403	100
		R5年	16,407	99.0	R7年 5月	1,342	99
		R6年	16,266	99.2	R7年 6月	1,307	110
		R6年 10月	1,458	101.5	R7年 7月	1,303	99
		R6年 11月	1,410	95.1			
	R6年 12月	1,464	100.2				
R7年 1月	1,404	99.3					
需要	1.家計消費	○ 総務省発表の1月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり豚肉購入数量は1,789g(前年比98.1%)、支出金額が2,901円(同101.2%)となり、購入量は前年同月を下回ったが、支出金額は前年同月を上回った。	輸入量の推移 (ﾄﾝ・%)		財務省・通関実績		
	2.小売動向	○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の1月の販売統計速報によると、畜産部門の売上高は1,240.3億円(前年比101.7%、既存店ベース100.3%)と前年上回った。 牛肉や輸入肉の相場高が継続し、なかでも輸入品の価格高騰が続き不調となった。牛肉は成人式などハレの日前後にブランド牛が動いた店舗もみられたが、それ以外では価格を抑えた切り落とし等が販売の中心となった。 豚肉は、スライスやしゃぶしゃぶ用に回復傾向がみられたが、国産豚の価格上昇もあり伸び悩んだ。鶏肉は、鍋需要の受け皿となったが、鳥インフルエンザによる国産価格の上昇により好不調の判断がわかれた。 ○ 日本チェーンストア協会が公表した1月販売概況によると、畜産品の売上は913.9億円(店舗調整後で前年比100.6%)となり、前年並みとなった。 豚肉、鶏肉の動きは良かったが、牛肉は鈍かった。鶏卵の動きは良かったが、ハム・ソーセージは鈍かった。 ○ 月を通じて寒波による生育不良や物流の混乱に加え、豚熱による生産頭数減少などにより国内出荷頭数は減少した。 野菜の高騰により例年より鍋物需要は振るわなかったものの、輸入豚肉の高値推移や消費者の節約志向等により国産豚肉の需要は増加した。	暦年	輸入数量		チルド数量	
	1月概況	○ 日本チェーンストア協会が公表した1月販売概況によると、畜産品の売上は913.9億円(店舗調整後で前年比100.6%)となり、前年並みとなった。 豚肉、鶏肉の動きは良かったが、牛肉は鈍かった。鶏卵の動きは良かったが、ハム・ソーセージは鈍かった。 ○ 月を通じて寒波による生育不良や物流の混乱に加え、豚熱による生産頭数減少などにより国内出荷頭数は減少した。 野菜の高騰により例年より鍋物需要は振るわなかったものの、輸入豚肉の高値推移や消費者の節約志向等により国産豚肉の需要は増加した。		ﾄﾝ	前年比	ﾄﾝ	前年比
	2月概況	○ 月を通じて寒波による生育不良や物流の混乱に加え、豚熱による生産頭数減少などにより国内出荷頭数は減少した。 野菜の高騰により例年より鍋物需要は振るわなかったものの、輸入豚肉の高値推移や消費者の節約志向等により国産豚肉の需要は増加した。	R3年	903,455	101.3	420,361	101.0
	3.加工肉仕向量	○ 日本ハム・ソーセージ工業協同組合発表の1月の豚肉加工品仕向量は26.1千ﾄﾝ(前年比106.5%)と、加工品の値上げによる販売不振は続くが、前年を上回った。 内訳は、国産原料5.2千ﾄﾝ(前年比111.7%)・輸入原料20.9千ﾄﾝ(同105.3%)となった。 なお、上記仕向量とは別枠のシーズンドボークは8.9千ﾄﾝ(前年比99.5%)と、前年並みとなった。	R4年	977,158	108.3	403,854	96.3
			R5年	919,713	94.2	393,416	99.1
			R6年	976,482	107.2	384,908	98.4
			R6年 10月	86,780	123.6	34,193	102.0
			R6年 11月	78,283	104.5	30,446	85.3
	在庫	1.在庫	○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(2月26日公表)によると、1月末の推定期末在庫量は214.0千ﾄﾝ(前年比110.3%、前月比102.8%)となり、前年を上回った。 内訳は、輸入品;190.5千ﾄﾝ(前年比110.0%、前月比102.6%)と前年を上回り、国産品;23.5千ﾄﾝ(同113.0%、同104.4%)も前年を上回った。 また、今後の期末在庫は、2月は220.8千ﾄﾝ(同118.0%)、3月は226.0千ﾄﾝ(同119.4%)と前年を上回って推移するものと見られる。	家計消費量 (㉫, 円, %)			
2.予測		暦年	全国1世帯当たり				
			数量	前年比	金額	前年比	
		R3年	22,559	98.2	31,892	97.1	
		R4年	22,297	98.8	32,487	101.9	
		R5年	22,031	98.8	33,553	103.4	
		R6年	21,829	99.1	33,817	100.8	
		R6年 10月	1,774	95.9	2,850	99.6	
		R6年 11月	1,856	100.4	2,927	102.3	
		R6年 12月	1,993	98.6	3,148	102.9	
R7年 1月	1,789	98.1	2,901	101.2			
枝肉相場	1.R7年2月速報値	○ 2月の東京市場枝肉卸売価格(速報値;2月28日時点)は、620円/kg(前年比104.4%)と前年を上回った。 2月は、寒波による生育不良、豚熱の発生等から国内出荷頭数が減少したことに加え、物流の混乱等も重なり供給面が不安定となった。 また、輸入豚肉の高値推移からの代替需要や消費者の節約志向等から国産豚肉需要が増加したため、需給がひっ迫し前年・前月を上回った。	加工品仕向量 (千ﾄﾝ・%)		市況の推移(東京市場)(円/kg・%)		
	2.予測 R7年3月	暦年	加工品仕向量		暦年	豚枝肉「上物」(税込み)	
			千ﾄﾝ	前年比		円/kg	前年比
		R3年	379.4	100.6	R3年	546	97.3
		R4年	368.5	97.4	R4年	582	107.0
		R5年	336.4	91.5	R5年	609	104.9
		R6年	349.2	103.8	R6年	651	106.7
		R6年 10月	31.2	110.2	R6年11月	571	110.0
		R6年 11月	32.6	105.7	R6年12月	638	115.6
		R6年 12月	29.0	105.0	R7年1月	597	121.3
R7年 1月	26.1	106.5	R7年2月速報値	620	104.4		
<相場予想: 東京市場、税込み>		1月実績	2月実績	3月予測	4月予測		
【上物】(前年比)		597円/kg (121.3%)	620円/kg (104.4%)	600円/kg (109.1%)	600円/kg (97.9%)		